



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.45

中仙地域の豊川地区でデジタルカメラや双眼鏡などの各種光学部品を製造しているのが、ゼネラルオプティックス株式会社（江守敏男代表取締役）です。

同社は、1994（平成6）年に同地域の野中地区で創業し、2001（平成13）年には、豊川地区に工場を整備。光学レンズを通る光をコントロールするため、の蒸着工程を拡張しました。その後も、設備を充実させるとともに、社員の技術の修得・向上に努め、多種多様な光学部品を製造しています。

同社の主な取引先はヨーロッパの企業。そのヨーロッパでは、車載向けHUD※（ヘッドアップデ



ニーズを捉えた「最高品質」

ゼネラルオプティックス(株) [中仙]

製造品目／各種光学部品

従業員数／65人

※今回の案内人は技術管理部マネージャーの鈴木善和さんです（写真右下は江守俊男代表取締役）

イスブレイ）の需要が高まっています。また、表示する情報量の増加に伴うHUDの大容量化が進んでいます。それらのニーズに敏感に反応した同社は、大容量HUD用大口径異形レンズの加工などに関する技術開発を新規に計画。安定的な生産と性能の向上を達成しました。

「最高品質」の実現を企業理念に掲げる同社。顧客のニーズを的確に捉え、目標とする品質を設定し、その目標を達成するための設備投資や技術開発を繰り返すことで、顧客にとって「最高品質」の製品を提供しています。

※顔を前方に向けたまま各種情報を確認できる液晶画面